

常任委員会活動の評価について

今期（平成29年5月～）

1 チェックシートによる評価

平成30年

3月8日（木）予算決算常任委員会理事会

3月9日（金）常任委員会（戦略企画雇用経済、環境生活農林水産、健康福祉病院）

3月12日（月）常任委員会（総務地域連携、防災県土整備企業、教育警察）

- (1) チェックシートの項目を参考に、1年間の委員会活動を振り返り、良かった点、改善すべき点等を委員間討議する。
- (2) 委員間討議の後、正副委員長、各委員がそれぞれチェックシートに評点等を記載して提出する。

2 委員会活動評価総括表について協議

3月13日（火）常任委員会（戦略企画雇用経済、環境生活農林水産、健康福祉病院）

3月14日（水）常任委員会（総務地域連携、防災県土整備企業、教育警察）

3月19日（月）予算決算常任委員会理事会

1での議論とチェックシートによる評価結果を踏まえて協議し、「委員会活動評価総括表」を作成する。

3 委員長会議での報告及び確認

3月22日（木）委員長会議

各委員長から、「委員会活動評価総括表」により、1年間の委員会活動の評価を報告するとともに、委員長間で共有すべき取組等を確認し、次期委員会への引継ぎ事項を整理する。

※委員長会議開催後に常任委員会を開催した場合には、「委員会活動評価総括表」への補足の有無・内容について、当該委員会（理事会）において協議し、補足後の「委員会活動評価総括表」を委員長から議長に提出する。

4 代表者会議への報告

5月11日（金）代表者会議

議長から、委員会活動の評価や次期委員会への引継ぎ事項も含め議会活動計画の実施状況を報告し、今後の対応方針を決定する。





次期（平成30年5月～）

5 次期委員会への引継ぎ

5月18日（金）委員長会議（予定）

議長から、次期委員長に、代表者会議で決定した対応方針とともに、前期の委員会活動の評価を引き継ぐ。

6 役員改選後の代表者会議への報告

5月22日（火）代表者会議

5月18日（金）に予定されている委員長会議などで、委員会活動の評価に関して代表者会議に報告すべき事項が生じた時は、議長から報告する。

チェックシート

資料2

議会活動の中心的な役割を果たす各常任委員会において、委員会活動が「監視・評価・政策立案・政策提言」の充実に寄与できたかという観点から評価を行うためのチェック項目をまとめました。

今年度の委員会活動を振り返り、評価の視点を参考にして、委員(理事)の皆さんで自己評価を行っていただき、5段階評価をしてください。(但し、該当のない項目は評価しませんので、当該項目の評価欄には「-」をつけてください。)

【チェックシートを記入するにあたっての注意事項】

<p>■点数の基準</p>	<p>○委員個人の評価とします。</p> <p>○基準となる点数は「3点」とします。</p> <p>1点・・・「ほとんどできなかった」「不満足」</p> <p>2点・・・「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」</p> <p>3点・・・「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」</p> <p>4点・・・「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」</p> <p>5点・・・「ほぼ完璧にできた」「十分満足」</p>
<p>■評価できない項目 (該当なし「-」)</p>	<p>○チェックシートを記入する前に、委員間で協議を行い、評価項目に含めるか否か(「-」とするか否か)を委員会として決めます。</p>

裏面に続く

委員会名(防災県土整備企業常任委員会)

項目	評価の視点	評価
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(6)調査・審査結果の施策への反映	調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。 []	/

防災県土整備企業常任委員会活動評価総括表

資料3

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） []	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） []	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） []	
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） []	

項目	評価の視点	平均点
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。	
	「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)	
(6)調査・審査結果の施策への反映	調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。	/

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

防災県土整備企業常任委員会 活動計画書 (平成29年5月～平成30年5月)

平成29年6月30日現在

1 所管調査事項

- ・危機管理及び防災対策の推進について
- ・公共土木施設の整備・維持管理について
- ・都市計画、住宅、その他土木行政の推進について
- ・公営企業（病院事業を除く）の運営について

2 重点調査項目

- (1) 防災・減災対策について
- (2) 道路及び流域の整備について
- (3) 建設産業の活性化について

3 活動計画表

重点調査項目	平成29年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成30年 1月	2月	3月	4月	5月
(1)防災・減災対策 について (2)道路及び流域の 整備について (3)建設産業の活性 化について	常任委員会 所管事項説明 (5/26)	常任委員会 議案の審査、所 管事項の調査 等 予決分科会 補正予算等 (6/21, 23)	県内調査 (7/18)	県内調査 (8/3) 県外調査 (8/28～ 30)		常任委員会 議案の審査、所管事項の調 査等 予決分科会 補正予算等(10/4, 6) 予決分科会 平成28年度歳入歳出決算、 所管事項の調査(当初予算 編成に向けての基本的な考 え方)(10/31)		常任委員会 議案の審査、 所管事項の 調査等 予決分科会 補正予算等 (12/12, 14)			常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 当初予算、補 正予算等 (3/●, ●)		
執行部の主な予定		成果レポート (案)				企業会計決算 一般会計・特別会計決算 平成30年度経営方針(案) 当初予算編成に向けての基 本的な考え方		当初予算要 求状況		当初予 算案	平成30年度経 営方針		

4 県内外調査について

- (1) 県内調査
 - 7月18日 海岸堤防整備や防災ヘリコプター更新の取組状況等の調査を行う。(中南勢地域)
 - 8月3日 広域防災拠点施設や新名神高速道路の整備状況等の調査を行う。(北勢地域)
- (2) 県外調査
 - 8月28日～8月30日(2泊3日) 東日本大震災の復興・復旧状況や災害時の受援体制構築に向けた取組等の調査を行う。(東北方面)

防災県土整備企業常任委員会 活動実績書（案）（平成29年5月～平成30年5月）

平成30年3月12日現在

1 所管調査事項

- ・危機管理及び防災対策の推進について
- ・公共土木施設の整備・維持管理について
- ・都市計画、住宅、その他土木行政の推進について
- ・公営企業（病院事業を除く）の運営について

2 重点調査項目

- (1) 防災・減災対策について
- (2) 道路及び流域の整備について
- (3) 建設産業の活性化について

3 活動計画表

重点調査項目	平成29年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成30年 1月	2月	3月	4月	5月
(1) 防災・減災対策について (2) 道路及び流域の整備について (3) 建設産業の活性化について	常任委員会 所管事項説明 (5/26)	常任委員会 議案の審査、 所管事項の調査等 予決分科会 補正予算等 (6/21, 23)	県内調査 (7/18)	県内調査 (8/3) 県外調査 (8/28～ 30)		常任委員会 議案の審査、所管事項の調査等 予決分科会 補正予算等(10/4, 6) 予決分科会 平成28年度歳入歳出決算、 所管事項の調査（当初予算 編成に向けての基本的な考 え方）(10/31)	予決分科会 補正予算 (11/28)	常任委員会 議案の審査、 所管事項の調査等 予決分科会 補正予算等 (12/12, 14)		予決分科会 補正予算 (2/26)	常任委員会 議案の審査、 所管事項の調査等 予決分科会 当初予算、補 正予算等 (3/12, 14)		
執行部の主な予定		成果レポート (案)				企業会計決算 一般会計・特別会計決算 平成30年度経営方針（案） 当初予算編成に向けての基本的な考え方		当初予算要求状況		当初予算案	平成30年度 経営方針		

4 県内外調査について

- (1) 県内調査
 - 7月18日 宇治山田港海岸堤防(県土整備部)や国道42号松阪多気バイパス(紀勢国道事務所)の整備状況と防災ヘリコプター更新(防災対策部)の取組状況について調査を行った。
 - 8月3日 新名神高速道路(NEXCO 中日本)や県道湯の山温泉線の湯の山かもしか大橋(県土整備部)、北勢広域防災拠点施設(防災対策部)の整備状況について調査を行った。
- (2) 県外調査
 - 8月28日～8月30日(2泊3日) 東日本大震災からの復興・復旧状況(大船渡市の市街地復興現場、陸前高田市の海岸堤防復旧現場)や災害発生時の受援・応援体制の構築に向けた取組(岩手県議会、遠野市の後方支援資料館)、最新の防災・減災対策に関する研究(東北大学災害科学国際研究所)などについて調査を行った。

平成29年度の主な議会の取り組み（参考）

- 1 障がい者差別解消条例策定調査特別委員会の設置<5月>
- 2 働き方改革調査特別委員会の設置<5月>
- 3 「成果レポート」に基づく今後の県政運営等に関する知事への申し入れ<8月>
- 4 公共政策大学院からのインターンシップ実習生の受入れ<9月>
- 5 みえ現場 de 県議会の開催
 - ・第1回 「文化振興～地域の文化・歴史を後世に伝えるために～」<11月>
 - ・第2回 「観光・交流の推進～地域の観光資源が光輝く未来へ～」<1月>
- 6 議員勉強会の開催
 - ・第1回 「働き方改革、そこが間違ってます！」<10月>
白河 桃子 氏（相模女子大学客員教授）
 - ・第2回 「若者と政治」<1月>
原田 謙介 氏（NPO法人 Youth Create 代表理事）
 - ・第3回 「地域が育てたスポーツクラブ アルビレックス新潟」<3月>
田村 貢 氏（一般社団法人 日本女子サッカーリーグ 専務理事）

調査・審査結果の施策への反映に関する参考資料

- 1 平成29年版「成果レポート」・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

- 2 各定例会月会議における委員長報告一覧・・・・・・・・ 2

『平成28年版成果レポート』に基づく今後の『県政運営』等に係る意見への回答

【防災県土整備企業常任委員会】

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見	回答
111	災害から地域を守る人づくり	防災対策部	策定中の三重県広域受援計画（仮称）について、受援対応を検討する際、みえ災害ボランティア支援センターがこれまで培ってきた経験等を計画に反映できるよう取り組まれた。	三重県広域受援計画（仮称）については、医療活動、物資活動などのほか、他県からのボランティアの受援対応についても整理することとしています。 ボランティアの受援対応にあたって、みえ災害ボランティア支援センター幹事会と十分連携しながら策定してまいります。
351	道路網・港湾整備の推進	県土整備部	近畿自動車道紀勢線の未事業化区間について、早期事業化に向けた取り組みを一層強化されたい。	未事業化区間の事業化のためには、事業化区間の進捗を図ることも必要なため、本年度から熊野道路、新宮紀宝道路の用地交渉業務を担う近畿道紀勢線推進プロジェクトチームを立ち上げ、用地買収の推進に取り組んでいます。 また、地域の声を地元住民（医療・商工関係者）が国に直接届けることが重要であることから、新たな取組として、三重県と地元住民が一体となった要望活動を11月に実施します。 さらに、紀伊半島を一周する広域ネットワークという視点から和歌山県と協調した取組も効果的であることから、両県合同による建設促進大会を10月に開催します。

各定例会月会議における委員長報告一覧

「治山・治水・海岸保全の推進について(11月15日 分科会委員長報告)」

先月には、台風第21号及び第22号が県内各地に多くの被害をもたらしたところですが、年々勢力を増す台風や集中豪雨、それに伴う河川氾濫(はんらん)等により、県民の皆さんの生命や財産が危険にさらされる状況が頻発しています。

県当局におかれましては、浸水被害への対策として、優先度を踏まえつつも、河川堆積土砂等の撤去の速やかな推進や、より効果的な撤去手法の検討を行うとともに、河川堤防等の復旧や改修に際しては、より災害に強い構造の採用を検討していただくよう要望します。